

大学案内	教育 学部・大学院	研究	社会連携	国際連携・留学	学生生活	就職・キャリア	図書館・博物館等
------	--------------	----	------	---------	------	---------	----------

明治大学TOP 唐十郎氏率いる「劇団唐組」の東日本大震災お見舞い公演 ひだまり広場で開催

明治大学校友、唐十郎氏率いる「劇団唐組」の東日本大震災お見舞い公演
『ひやりん児(こ)』5月14・15日、明大「陽だまり広場」で開催
～収入の一部は義援金に 震災後の生き方を考えるアフタートークも～

2011年5月15日

明治大学校友で、俳優・劇作家・演出家の唐十郎氏(1962年文学部文学科演劇学専攻卒)が主宰する「劇団唐組」の東日本大震災お見舞い公演(義援公演)『ひやりん児』が5月14日(土)、15日(日)の両日、明治大学駿河台キャンパス「陽だまり広場」にて開催されます。興行収入の一部は、震災の義援金となります。

劇団唐組の春公演『ひやりん児』は当初、5月14・15日には水戸芸術館広場(水戸市)で開催予定でしたが、震災で同会場が被災し開催が不可能に。その後、劇団唐組と同芸術館を運営する水戸市芸術振興財団から、震災のチャリティ公演を本学で行いたいのご提案があり、今回、三者の共催という形で開催の運びとなりました。

『ひやりん児』は唐十郎氏の作・演出による、お豆腐を売る男の話です。両日とも終演後に、東日本大震災後の日本人の生き方を考える「アフタートーク」を併せて開催します。



唐十郎氏の熱演

～あらずじ～

鬼才・唐十郎のエッセンスしたたる
お豆腐草子『ひやりん児』

茅ヶ崎の海底で、ルビーを丸飲みしようとしているタコ一匹…
噛みついて、俺は、誰のものとも知れぬルビー珠一つを奪い返した—。
豆腐屋<豆月庵>の青年・尾加良(おから)は、豆腐一丁入った水槽を引きながら、
兄貴分の水島朱貝を捜してこの路地へやって来た。
胸には、<ルビー>と呼ばれる宝玉を忍ばせていたが、この路地で出会う人々は、
その<ルビー>を求めてやまない。
水島の妹、藻八重(もやえ)と共に<ルビー>を守ろうとする尾加良の前に、
やっと現われた捨て身の水島が連れて来たのは…！
糸コンニャクを握りしめる水島と、その兄を信じ支える妹・藻八重、
<ルビー>を求め、プロペラ使いの曾根とそのイロ・路子に、
遠い昔の江ノ島の海姫たちひしめくこの路地を、尾加良は這い回る！
<ルビー>に、もう一つの宝剣が出会うおぼろ月夜、時の門は崩れ落ち、
失われたはずの絆が呼び覚まされる。

【役者陣】

唐十郎

久保井研／辻孝彦／稲荷卓央／藤井由紀／赤松由美／岡田悟一／気田睦／大美穂／土屋真衣／大石亜衣／轡あずみ／大鶴美仁音

《記》

《日時》 2011年5月14日(土)、15日(日) ※両日とも19:00開演

《アフタートーク》 14日…金山秋男(明治大学法学部教授)

中沢新一(明治大学研究・知財戦略機構特任教授・思想家・人類学者)

唐十郎氏

15日…坪内祐三氏(批評家)

天童荒太氏(作家・本学校友)

唐十郎氏



《会場》 明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区神田駿河台1-1)「陽だまり広場」

《料金》 前売券3500円 当日券3600円 ※大学生以下は学割。いずれも2500円

《チケットに関する問い合わせ》 劇団唐組 tel:03-3330-8118

明大マート駿河台店 tel:03-3296-1213



[ページの先頭へ](#)